



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 天昇電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岸田 勇

TEL 042-788-1555

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,557	15.2	291	72.1	298	70.8	158	77.3
2020年3月期	18,351	4.1	1,044	10.0	1,022	4.7	700	18.9

(注) 包括利益 2021年3月期 132百万円 (79.1%) 2020年3月期 635百万円 (1.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	9.34		2.4	1.7	1.9
2020年3月期	41.60		11.2	6.2	5.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	17,324	7,150	39.0	396.84
2020年3月期	17,099	7,077	38.8	389.44

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,751百万円 2020年3月期 6,625百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,035	1,681	496	2,891
2020年3月期	2,318	2,084	74	3,008

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		3.00	3.00	51	7.3	0.7
2021年3月期		0.00		3.00	3.00	51	32.1	0.7
2022年3月期(予想)								

(注) 2022年3月期の配当予想については現段階での業績の予想が困難なため未定とさせていただきます。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大及び自動車業界の半導体供給不足の影響により、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	17,014,000 株	2020年3月期	17,014,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	85 株	2020年3月期	85 株
期中平均株式数	2021年3月期	17,013,915 株	2020年3月期	16,834,705 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,719	15.3	297	66.5	322	63.6	232	63.9
2020年3月期	16,196	1.3	888	3.2	885	1.9	644	4.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	13.66	
2020年3月期	38.29	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	16,523	6,877	41.6	404.22
2020年3月期	16,373	6,627	40.5	389.51

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,877百万円 2020年3月期 6,627百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大及び自動車業界の半導体供給不足の影響により、現時点において合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。詳細については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P2
(1) 当期の経営成績の概況	P2
(2) 当期の財政状態の概況	P3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P3
(4) 今後の見通し	P4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P5
(1) 連結貸借対照表	P5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P13
(継続企業の前提に関する注記)	P13
(連結損益計算書関係)	P13
(セグメント情報等)	P13
(1株当たり情報)	P16
(重要な後発事象)	P16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が制限され、景気は悪化しました。緊急事態宣言の解除後は、経済活動再開や政府による各種経済対策により持ち直しの動きがみられたものの、再び感染者数の増加に伴い、一部地域において2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、感染収束時期が見通せず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは新型コロナウイルス対策として、在宅勤務や交代勤務の実施などにより感染リスクの軽減に努める一方、引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善、生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により主要顧客である自動車関連企業での減産等による影響を受けて、売上高は155億57百万円（前連結会計年度183億51百万円、15.2%減）となりました。

損益面におきましては、各工場の稼働率低下の影響及び矢吹第二工場の竣工に伴う減価償却費の増加等により、売上総利益率は減少しました。また、販売費及び一般管理費の削減に取り組みましたが、売上高に占める割合は増加したことにより、営業利益は2億91百万円（前連結会計年度10億44百万円、72.1%減）となりました。

経常損益につきましては、営業外収益に受取利息及び配当金10百万円、為替差益17百万円、営業外費用に支払利息34百万円を計上したこと等により、経常利益は2億98百万円（前連結会計年度10億22百万円、70.8%減）となりました。

最終損益につきましては、特別利益に矢吹第二工場に関する補助金収入4億51百万円、特別損失に当該補助金に係る固定資産圧縮損4億39百万円、法人税等合計1億70百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は1億58百万円（前連結会計年度7億円、77.3%減）となりました。

セグメント情報の概要

(単位：百万円)

	売上高			
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業
当連結会計年度	13,249	361	1,656	289
前連結会計年度	15,871	443	1,746	289
増減率	△16.5%	△18.4%	△5.1%	△0.2%

	セグメント利益			
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業
当連結会計年度	50	10	21	247
前連結会計年度	664	41	113	223
増減率	△92.4%	△75.0%	△81.0%	10.6%

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

日本成形関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、納入先である自動車メーカーの完成車工場で操業停止や減産が行われました。この結果、売上高は132億49百万円（前連結会計年度比16.5%減）、セグメント利益は50百万円（前連結会計年度比92.4%減）となりました。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び新規案件の日程遅れ等による結果、売上高は3億61百万円（前連結会計年度比18.4%減）、セグメント利益は10百万円（前連結会計年度比75.0%減）となりました。

アメリカ成形関連事業

アメリカ成形関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び家電等の需要が減少した結果、売上高は16億56百万円（前連結会計年度比5.1%減）、セグメント利益は21百万円（前連結会計年度比81.0%減）となりました。

不動産関連事業

不動産関連事業は、相模原市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は2億89百万円（前連結会計年度比0.2%減）、セグメント利益は2億47百万円（前連結会計年度比10.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、173億24百万円（前連結会計年度末比2億25百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金28億91百万円（前連結会計年度末比1億17百万円減）、受取手形及び売掛金、電子記録債権が33億67百万円（前連結会計年度末比2億89百万円減）、棚卸資産が12億18百万円（前連結会計年度末比1億67百万円増）となったこと等により、78億70百万円（前連結会計年度末比6百万円増）となりました。

固定資産は、有形固定資産88億83百万円（前連結会計年度末比1億85百万円増）、投資その他の資産4億79百万円（前連結会計年度末比68百万円増）等により94億53百万円（前連結会計年度末比2億18百万円増）となりました。

(負債)

負債合計は、101億73百万円（前連結会計年度末比1億52百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、電子記録債務が45億82百万円（前連結会計年度末比9百万円増）、1年内返済予定の長期借入金が11億35百万円（前連結会計年度末比3億8百万円増）等により、70億96百万円（前連結会計年度末比3億79百万円減）となりました。

固定負債は、長期借入金が23億36百万円（前連結会計年度末比4億77百万円増）等により30億77百万円（前連結会計年度末比5億31百万円増）となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の変動等により71億50百万円（前連結会計年度末比72百万円増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末と比べ1億17百万円減少し、28億91百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは10億35百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3億10百万円、減価償却費12億8百万円、売上債権の減少2億76百万円、棚卸資産の増加1億79百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは16億81百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19億84百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4億96百万円の収入となりました。これは主に、長期借入による収入20億円、長期借入金の返済による支出12億11百万円等によるものであります。

	2017年3月度	2018年3月度	2019年3月度	2020年3月度	2021年3月度
自己資本比率 (%)	30.2	34.7	36.6	38.8	39.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	26.3	41.1	28.3	27.2	53.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	2.3	2.0	2.0	1.4	4.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	18.1	26.5	47.7	76.4	29.9

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大について、収束時期の予測が難しいことから、先行き不透明な状況で推移するものと予想されます。

自動車業界においても半導体の供給不足により輸出を含めた生産・販売台数の減少が見込まれ、当社グループの主要顧客である自動車メーカー向けの売上、当社グループの工場の稼働率に大きな影響が生じる可能性があります。

また、当社グループの従業員に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合には、一時的に操業を停止する等、経営成績に影響を与える可能性があります。新型コロナウイルスの感染者の発生を防ぐため、在宅勤務等を実施し、従業員の安全と健康を優先した対応を徹底しており、今後も引き続きリスク軽減に務めてまいります。

当社グループは、業績に与える影響を最小限に留めるべく、新技術・新製品の開発強化に取り組み、既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓を図ってまいります。

次期(2022年3月期)の連結業績予想につきましては、現時点では合理的な業績予想を算定することが困難であることから未定とさせていただきます。今後、当社グループにおける状況確認が進み、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勧奨し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

また、内部留保の蓄積及びその活用が企業発展の要であるとの認識の下、継続的に安定した収益確保を目指しております。

利益配分に関しましては、当期においても前期に引き続き3円の期末配当を実施する方針といたしました。

次期(2022年3月期)の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症、自動車業界の動向による影響を精査中であり、現時点では合理的な業績予想を算定することが困難であることから未定とさせていただきます。今後、当社グループにおける状況確認が進み、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間の比較可能性を確保するため、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの運用については、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,008	2,891
受取手形及び売掛金	2,583	2,518
電子記録債権	1,073	848
製品	441	560
原材料	527	572
仕掛品	82	85
その他	147	393
流動資産合計	7,864	7,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,523	8,496
減価償却累計額	△5,256	△5,396
建物及び構築物(純額)	2,267	3,100
機械装置及び運搬具	5,917	6,326
減価償却累計額	△4,870	△5,078
機械装置及び運搬具(純額)	1,046	1,247
工具、器具及び備品	8,090	8,773
減価償却累計額	△6,722	△7,240
工具、器具及び備品(純額)	1,367	1,533
土地	2,946	2,913
リース資産	92	111
減価償却累計額	△61	△74
リース資産(純額)	31	36
建設仮勘定	1,038	52
有形固定資産合計	8,698	8,883
無形固定資産		
のれん	64	42
その他	60	48
無形固定資産合計	125	90
投資その他の資産		
投資有価証券	194	269
繰延税金資産	179	170
その他	57	58
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	411	479
固定資産合計	9,234	9,453
資産合計	17,099	17,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,917	2,053
電子記録債務	2,655	2,529
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	827	1,135
リース債務	191	236
未払法人税等	164	102
賞与引当金	193	200
その他	1,325	638
流動負債合計	7,475	7,096
固定負債		
長期借入金	1,859	2,336
リース債務	250	385
資産除去債務	21	21
その他	415	334
固定負債合計	2,546	3,077
負債合計	10,021	10,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	1,029	1,029
利益剰余金	4,316	4,424
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,554	6,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	114
為替換算調整勘定	26	△24
その他の包括利益累計額合計	71	89
非支配株主持分	451	398
純資産合計	7,077	7,150
負債純資産合計	17,099	17,324

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,351	15,557
売上原価	14,812	12,962
売上総利益	3,538	2,595
販売費及び一般管理費	2,494	2,303
営業利益	1,044	291
営業外収益		
受取利息	9	1
受取配当金	9	8
為替差益	—	17
スクラップ売却益	7	4
その他	13	14
営業外収益合計	39	46
営業外費用		
支払利息	30	34
為替差損	29	—
その他	2	5
営業外費用合計	61	39
経常利益	1,022	298
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	—	451
特別利益合計	0	452
特別損失		
減損損失	26	—
固定資産除却損	1	1
固定資産圧縮損	—	439
特別損失合計	28	441
税金等調整前当期純利益	994	310
法人税、住民税及び事業税	296	92
過年度法人税等	—	73
法人税等調整額	△22	4
法人税等合計	274	170
当期純利益	720	140
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	20	△18
親会社株主に帰属する当期純利益	700	158

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	720	140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	68
為替換算調整勘定	△36	△76
その他の包括利益合計	△85	△7
包括利益	635	132
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	621	176
非支配株主に係る包括利益	14	△44

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,208	897	3,666	△42	5,729
当期変動額					
剰余金の配当			△49		△49
親会社株主に帰属する 当期純利益			700		700
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		131		42	174
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	131	650	42	825
当期末残高	1,208	1,029	4,316	△0	6,554

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	93	56	150	426	6,305
当期変動額					
剰余金の配当					△49
親会社株主に帰属する 当期純利益					700
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					174
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△48	△30	△79	25	△53
当期変動額合計	△48	△30	△79	25	771
当期末残高	45	26	71	451	7,077

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,208	1,029	4,316	△0	6,554
当期変動額					
剰余金の配当			△51		△51
親会社株主に帰属する 当期純利益			158		158
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	107	—	107
当期末残高	1,208	1,029	4,424	△0	6,662

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	45	26	71	451	7,077
当期変動額					
剰余金の配当					△51
親会社株主に帰属する 当期純利益					158
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	68	△50	17	△53	△35
当期変動額合計	68	△50	17	△53	72
当期末残高	114	△24	89	398	7,150

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	994	310
減価償却費	1,047	1,208
減損損失	26	—
のれん償却額	19	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△0
受取利息及び受取配当金	△18	△10
支払利息	30	34
為替差損益 (△は益)	18	△17
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
有形固定資産除却損	1	1
固定資産圧縮損	—	439
補助金収入	—	△451
売上債権の増減額 (△は増加)	445	276
たな卸資産の増減額 (△は増加)	102	△179
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8	19
未収入金の増減額 (△は増加)	16	△20
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△7
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	△21
その他	△10	△252
小計	2,616	1,354
利息及び配当金の受取額	18	10
利息の支払額	△30	△34
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△286	△294
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,318	1,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	210	—
定期預金の預入による支出	△100	—
有形固定資産の取得による支出	△2,178	△1,984
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△25	△22
固定資産の除却による支出	△0	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
補助金の受取額	—	332
その他	11	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,084	△1,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△984	△1,211
リース債務の返済による支出	△214	△239
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△49	△53
自己株式の処分による収入	174	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74	496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143	△117
現金及び現金同等物の期首残高	2,864	3,008
現金及び現金同等物の期末残高	3,008	2,891

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

(過年度法人税等)

メキシコにおける連結子会社において、メキシコ当局による移転価格等に係る通知を受けており、発生の可能性が高いと予想される過年度分の追加税金費用を見込み、過年度法人税等として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車部品、物流産業資材、機構品部品の生産・販売及び不動産賃貸を行っております。国内においては当社が、海外においては中国を天昇塑料(常州)有限公司がアメリカを天昇アメリカコーポレーションがそれぞれ担当しております。現地法人は独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、上記の事業内容を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「日本成形関連事業」、「中国成形関連事業」、「アメリカ成形関連事業」、「不動産関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,871	443	1,746	289	18,351	—	18,351
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	16	—	—	51	△51	—
計	15,906	459	1,746	289	18,402	△51	18,351
セグメント利益	664	41	113	223	1,044	—	1,044
セグメント資産	16,019	335	1,874	354	18,583	△1,483	17,099
その他の項目							
減価償却費	964	10	46	25	1,047	—	1,047
減損損失	9	—	—	17	26	—	26
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,751	80	39	—	2,872	—	2,872

(注) セグメントの調整額は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,249	361	1,656	289	15,557	—	15,557
セグメント間の 内部売上高又は振替高	180	3	0	—	184	△184	—
計	13,430	365	1,657	289	15,742	△184	15,557
セグメント利益	50	10	21	247	330	△38	291
セグメント資産	16,205	365	2,029	329	18,930	△1,605	17,324
その他の項目							
減価償却費	1,114	11	58	24	1,209	△1	1,208
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,311	37	149	—	1,497	△38	1,459

(注) セグメントの調整額は、セグメント間取引消去であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	成形品	不動産賃貸	合計
外部顧客への売上高	18,061	289	18,351

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本	アジア	北米	合計
16,181	423	1,746	18,351

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本	アジア	北米	合計
7,376	25	1,296	8,698

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	5,654	日本成形関連事業
三甲株式会社	1,853	日本成形関連事業

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	成形品	不動産賃貸	合計
外部顧客への売上高	15,268	289	15,557

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本	アジア	北米	合計
13,563	336	1,656	15,557

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本	アジア	北米	合計
7,555	49	1,279	8,883

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	4,112	日本成形関連事業
三甲株式会社	1,845	日本成形関連事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	全社・消去	合計
減損損失	9	—	—	17	—	26

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	19	—	—	19
当期末残高	—	—	64	—	—	64

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	19	—	—	19
当期末残高	—	—	42	—	—	42

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	389円44銭	396円84銭
1株当たり当期純利益	41円60銭	9円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	700	158
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	700	158
期中平均株式数(千株)	16,834	17,013

(重要な後発事象)

該当事項はありません。